

出羽の三森

第5号 令和 6年10月 9日
文責：校長 町田真裕



2学期始業式

校長講話より (抜粋)

今日から2学期が始まります。

みなさんはどんな夏休みを過ごしましたか。

1学期終業式で話をした「やることを1つ決めて」

「前向きに挑戦すること」「辛抱強く継続すること」

これが実行できた人は、きっと、有意義な夏休みだったと思います。



「やる」か「やらない」か、その行動は、自分の“心”が決めるのです。

2学期も「前向きに挑戦すること」そして、それを「辛抱しながら継続すること」を頑張
って、自分を磨いていってほしいと思います。

2学期は、活力祭、合唱祭をはじめとするたくさんの
行事が待っています。みなさんには、互いの個性を認め
合い、自分の個性を生かして、仲間と共に1つのものを
創り上げる行事を通して、一人一人が、自分を伸ばして
いってほしいと思います。



悩みながらも、失敗しながらも、仲間とたくさん相談を
して、仲間とともに、全力でやって、全力で楽しんでほしいと思います。

しかしながら、その過程においては、自分の思い通りにならないことがあるでしょう。人
と意見が分かれることだってあるでしょう。そのようなときには、

うまくいくために「今、自分に何ができるか」と考える習慣を持ってください。

うまくいかないとき、人と意見が分かれたときに、相手への不満や悪口を言ったり、「で
も」とか、「だって」とかいった言い訳をしたり、そのことを誰かせいにしたり、そんなこ
とをしていては、せっかくの伸びるチャンスを自分で潰してしまいます。

2学期は、みなさんが活躍する場面がたくさんあります。ぜひ、「人が何かしてくれる」
のを待つのではなく「今、自分に何ができるか」という発想をして、
行動してみてください。一中生496名 一人一人が
「今、自分に何ができるか」を考えて、行動できたら、
これは、相当すごい力になると思います。充実の2学期です。



一中生全員で「楽しく 力のつく一中」を創り上げましょう。